

第2回 豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会

1. 開催日時 平成26年5月8日（木）午後3時～午後4時30分
2. 開催場所 豊橋市役所東41会議室（東館4階）
3. 出席者 委員7名（石原委員長、伊藤委員、大久保委員、功刀委員、諏訪委員、富田委員、村松委員）
豊橋市4名（立岩総務部長、木和田行政課長、小林行政課主幹、小林行政課長補佐）
4. 欠席者 世羅委員
5. 会議概要 以下のとおり

発言者	要旨
事務局 (行政課長)	定刻となりましたので、ただ今から、第2回豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会を開催いたします。 開会にあたりまして総務部長の立岩より一言ご挨拶を申し上げます。
総務部長	本日もご多忙の中、出席いただき誠にありがとうございます。また、年度初めのお忙しい中、書類評価にご協力くださりありがとうございます。「妥当」・「要検討」に関係なく、例年に増して多くのコメントを記載していただき感謝申し上げます。 本日の議事は、書類評価結果の報告と、公開プレゼンテーションについてです。公開プレゼンテーションに関しては、次期行財政改革を見据えた新たな試みをしていきたいと考えております。本日も忌憚のないご意見を伺えればと思います。何卒よろしく申し上げます。
事務局 (行政課長)	それでは、ここからは石原委員長に進行をお願いしたいと思います。委員長、よろしくお願いいたします。
石原委員長	それでは、ただいまから議事に入ります。次第2の(1)にございます、「書類評価結果について」、事務局より説明を願います。
事務局 (行政課主幹)	お手元の資料1をご覧ください。 《資料1-1及び資料1-2「内部評価結果等について」を説明》
石原委員長	ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。
諏訪委員	年度を追うごとに「要検討」の割合が高まっている。評価

発言者	要 旨
	<p>はあと2回あるが、来年度が計画の最終年度となる。この状況をどう考えるか、みなさんの意見を伺いたい。</p>
伊藤委員	<p>評価する際、評価シートに記載されている初年度や昨年度の外部評価コメントにも目を通し、経年変化を踏まえて25年度はどうだったのかと見るようにした。行財政改革プランの計画期間は5年間であり、この期間に目標が変化していくことはむしろ自然であるように感じるが、逆に毎年同じ目標を設定している取組もあった。一概には言えないが、このような取組はこれまで「妥当」としていても、今回はもう少し考えて欲しいという思いを込めて「要検討」としたものもあった。</p>
大久保委員	<p>評価をする中で、目標数字が記載されているものについては、こちらとしても評価しやすく、また成果を上げたものについては積極的に評価した。ただし、目標数字が記載されていても、初年度より目標を下げた上で達成したものについてはたとえ達成度がAであっても要検討とした。</p>
村松委員	<p>私が評価した中にも昨年度の外部評価コメント欄に改善を促す提案が記載されているにもかかわらず、今回も全く同じ手法で取り組んでいるように見受けられる取組もあった。</p>
功刀委員	<p>外部評価は評価シートに記載されている内容をもとに判断している。5年間の取組を1枚のシートに収めており、内容も簡潔とならざるを得ない。そういった限られた情報をもとに評価する難しさを実感している。もしかすると、こちらのコメントが実態にそぐわないこともあるかもしれない。担当課からのリアクションがあればこちらでも評価しやすくなる。場合によっては担当課からの異議申し立てがあってもよいと思う。</p>
石原委員長	<p>取組には目標数値があるものとそうでないものとあり、目標数値がないものは、進捗がはかどらない傾向があります。またこちらの評価に対して担当部局はどのように感じているのか気になるところです。当委員会として今後の進捗について危機感を抱いていることを各部局に周知していただきたいのと、各部局が今回の結果をどのように受け止めているかを取りまとめの上、当委員会へ報告するよう手配を</p>

発言者	要 旨
	願います。
総務部長	ご意見ありがとうございます。私自身も今年度が行財政改革プランの推進において要の年であるとの認識から、外部評価結果をただ書面で示して検討を促すのではなく、各部局に出向いて、しっかりと受け止めてもらえるよう工夫したいと考えております。また、いただいたコメントに対し各部局がどう受け止めているかについてもお答えできるよう準備いたします。
石原委員長	続きまして、次第2の(2)にございます、「公開プレゼンテーションについて」、事務局より説明を願います。
事務局 (行政課主幹)	それでは、資料2をご覧ください。 《資料2「公開プレゼンテーションについて」を説明》
石原委員長	ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。
諏訪委員	私は、行政の課題、地域の悩める問題、地域力の向上という視点から、「東三河広域連合の活用について」、「ひとり暮らし世帯等への見守り及び買い物支援などを行う高齢者安心生活サポート事業の拡充」、「環境貢献を目指す企業と連携した環境関連産業振興事業の促進(市民ファンド)」がよいと考える。
功刀委員	「津波避難対策特別強化地域の指定を受けての本市の取組について」は部局別行動計画の取組ではないことから、他の候補と比べ、外部検証委員会としては評価しにくい面がある。
諏訪委員	津波の取組については、別に公の会議などで議論しているのであれば、公開プレゼンテーションで取り上げなくてもよいと考える。
富田委員	「ごみの減量化に向けた効果的な手法について(家庭ごみの有料化)」については、初年度の公開ヒアリングで取り上げ、その後の経過も気になることから、今年度の公開プレゼンテーションで取り上げたい。
石原委員長	これまでの意見をまとめますと、ごみ減量化の取組、東三河広域連合の取組、高齢者安心生活サポートの取組、市民ファンドの取組が今年度取り上げたいテーマとして挙げられました。事務局からの説明にもありましたように、今年

発言者	要 旨
	<p>度は公開プレゼンテーションのあり方についても新たな試みをしていきたいということです。複合的な視点を加味し、「地域コミュニティ」というキーワードで「市民とともにつくる健康づくり」と「高齢者安心生活サポートの取組」を一つのテーマとして取り上げるのはどうでしょうか。もう一つ、先の視点を加味して、「東三河広域連合の取組」と「ファシリティマネジメントの推進」も一つのテーマとして取り上げるのはどうでしょうか。</p>
委員一同	異議なし。
石原委員長	<p>ありがとうございます。これで4つのテーマとなるのですが、市民ファンドの取組については、確かに興味深いテーマではありますが、市民ファンドの実施者はあくまで民間であり、市役所としてできることに限度があることから、議論の展開が難しいように思います。また初年度の公開ヒアリングから豊橋市をいかに内外にアピールしていくかという視点で様々なテーマを取り上げてきた経緯もあることから、「市民参画によるシティプロモーションのあり方について」を取り上げたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>「再生可能エネルギー（バイオマス）の活用について」は、事務局案では「ごみ減量化の取組」とセットになっています。先ほど「複合的な視点」ということで提案しましたが、この「再生可能エネルギー」と「ごみ減量化」の取組はそれぞれが抱える問題が多岐にわたり、一緒に扱うと議論の收拾が時間内につかない恐れがあることから、「ごみ減量化」単独で取り上げたいと考えますが、いかがでしょうか。</p>
委員一同	異議なし。
石原委員長	<p>それでは、平成26年度の公開プレゼンテーションで取り上げるテーマは次の4テーマとします。</p> <p>「ごみの減量化に向けた効果的な手法について（家庭ごみの有料化）」</p> <p>「東三河広域連合の活用について」と「ファシリティマネジメントの推進について」で一つのテーマ</p> <p>「市民とともにつくる健康づくり」と「ひとり暮らし世帯等への見守り及び買物支援などを行う高齢者安心生活サポ</p>

発言者	要 旨
	<p>「ト事業の拡充」で一つのテーマ 「市民参画によるシティプロモーションのあり方について」</p> <p>本日の議事は以上になりますが、この他に何かご意見・ご質問等ありましたら、お願いします。特にないようですので、これで本日の外部検証委員会を終了いたします。どうもありがとうございました。</p>